

●●● 学校園・保育所などとの連携強化 ●●●

小中学校、幼稚園、保育所などと相互に連携し、学習会のプログラムやワークブックを作成するなど、それぞれの年代に応じた効果的な環境学習を行います。



エコちゃん



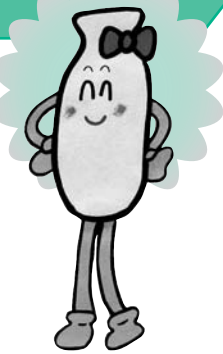
クリンちゃん



ぶっくりモンスター



ぶっくりごみくん



スリムちゃん

●●● 川西市のごみ減量啓発キャラクター ●●●

重要な課題

2. 市民と協働で取り組むごみ減量啓発

●●● 「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施 ●●●



平成21年度から実施している本施策においては、公募による市民が主体的にごみ減量に向けた取り組みを実践しています。今後は参加者が活動終了後においても、地域などでごみ減量の取り組みを広められるよう内容を充実していきます。



●●● 自治会、コミュニティなどとの連携 ●●●

ごみの分別や減量への取り組みについて市民の理解や意識を高めるためには、地域レベルにおける情報の浸透が必要です。自治会、コミュニティなどとの連携を図り、ごみステーションの環境美化や集団回収の周知、ごみ減量出前講座などの開催を推進します。

質問 どうして一般廃棄物処理基本計画を作らなければならないの？

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条」に「市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない。」とされており、本市の一般廃棄物処理施策の基本的な方向性を定めるものとして平成15年7月に平成24年度を目標年度とする一般

廃棄物処理基本計画を策定しました。今後とも循環型社会形成の促進に向けて、さらなる取り組みを進めるため「パートナーシップで進める循環型社会の形成」を基本理念として平成34年度を目標年度とする一般廃棄物処理基本計画を策定したものです。

川西市の重点施策

設定した48の具体的施策（P6参照）のうち、今後特に重要な課題を設定し、その実現に向けた具体的施策を重点施策として位置付けています。今後は、3Rに向けたさまざまな取り組みを着実に推進するとともに、川西市の特長を生かした、いわば川西市ならではの取り組みを進めていくことが必要です。

重要な課題

1. 子どもや若い世代に向けた啓発

本市では、ごみ減量に向けた市オリジナル・キャラクターを活用しながら、小学校や保育所などで子どもたちに学習会を実施しています。キャラクターなどを通じてごみ問題を身近なものとして興味と関心を持てるよう工夫しています。また、親子での

参加を推進し、一緒に考える機会を増やすことで啓発効果を高めるとともに、成長した子どもたちが、ごみの減量や分別を当たり前のこととして日々の生活の中で実践していく、そのような社会の姿をめざして取り組みを進めます。

●●● ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施 ●●●

ごみ減量出前講座や子ども向けごみ学習会を、より多くの市民がごみ問題への意識を高める機会として、学校や自治会、コミュニティなどに呼びかけて、開催回数を増やすなどの充実を図ります。また、親子で参加できる講座や学習会を実施するなど幅広い年齢層に対応したプログラムを工夫します。



●●● 小学校4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進 ●●●

小学校4年生向けに作成している副読本「ごみ減量ワークブック」を国崎クリーンセンターの見学に際し利用するとともに、ごみ減量やリサイクルへの気付きや取り組みにつながるよう活用を促進します。



国崎クリーンセンター

